

ふつくニュース

平成25年7月26日

博多祇園山笠を陰で支える！

博多の夏を代表する祭りといえば「博多祇園山笠」！毎年7月1日になると、10mを超える豪華絢爛な飾り山笠が、市内各所に展示されます。祭りの最高潮は、7月15日の追山笠。午前4時59分、大太鼓の合図とともに、男たちが昇山笠を担ぎ全力疾走する姿は圧巻です。また、今年は15日が海の日で祝日ということもあり、多くの人が見物に訪れました。当出張所では、山笠のコースが管理区間である国道202号国体道路を走ることから、毎年、祭りに併せて様々な取り組みを行っております。

ここでは、陰で山笠を支えた福岡西維持出張所の活動を報告したいと思います。

活動その1 高木剪定（7月1日～10日実施）

山が通過するのに支障となる高木がないか確認立会をし、支障木は剪定をします

背高の山の通行にも支障がないように剪定



振興会の方と一緒に現地調査



剪定後



山笠の基礎知識

山笠とは

博多祇園山笠の起源には諸説がありますが、博多祇園山笠振興会は一般に広く知られている聖一国師が仁治二（1241）年、疫病除去のため施餓鬼棚に乗って祈祷水（甘露水）をまいたのが始まりという説を取っています。当時は神仏混淆の時代。これが災厄除去の祇園信仰と結びついて山笠神事として発展したというのだ。この1241年を起源として、2013年は772回目という非常に歴史のあるものです。



活動その2 路面清掃（7月7日夜間実施）

地下足袋で走る舁き手のためにも山笠の前に路面清掃車で道路をキレイにしております！



活動その3 有志による歩道清掃活動（7月10日実施）

多くの観光客の皆様を気持ちよく迎えらるよう、おもてなしの心で！



暑い！

例年、博多の街は山笠の終わりとともに梅雨明けをし、夏本番となります。今年は、梅雨明けも早く、何やら酷暑のようです。今後は台風にも備え、頑張ります！



福岡国道

国土交通省九州地方整備局
福岡国道事務所